

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 } 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和4年度病虫害発生予察注意報第1号について

このことについて、病虫害発生予察注意報第1号(斑点米カメムシ類)を発表したので送付します。

本年は、斑点米カメムシ類の発生が平年より多いため、早急には場での発生状況を把握し、防除の徹底について指導をお願いします。

注意報第1号

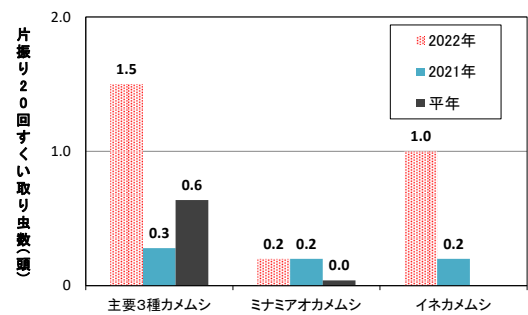
- 1 対象作物名：水稲
- 2 病虫害名：斑点米カメムシ類
- 3 発生量(現況)：多
- 4 注意報の根拠

(1) 8月5半旬調査の結果、主要3種カメムシ

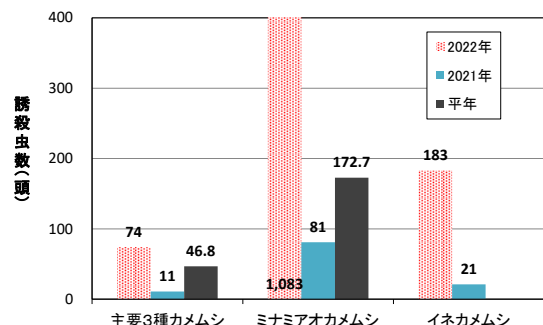
(クハカメムシ、ホリカメムシ、シホカメムシ)、ミナミアオカメムシ及びイネカメムシの発生量は前年・平年より多かった。

- ・主要3種カメムシ
20回すくい取り成虫数 1.5頭
(平年0.6頭、前年0.3頭)
発生ほ場率 40.6% (平年20.3%、前年20.0%)
- ・ミナミアオカメムシ
20回すくい取り成虫数 0.2頭
(平年0.0頭、前年0.2頭)
発生ほ場率 12.5% (平年1.5%、前年4.0%)
- ・イネカメムシ
20回すくい取り成虫数 1.0頭 (前年0.2頭)
発生ほ場率 21.9% (前年8.0%)

(2) 県下5カ所の予察灯における5月1半旬～8月4半旬の誘殺虫数は前年・平年より多かった。



ほ場におけるカメムシ類の発生密度(8月5半旬)
注)イネカメムシの調査は2021年より実施



予察灯におけるカメムシ類の誘殺状況
(5月1半旬～8月4半旬)
注)イネカメムシの調査は2019年より実施

- ・主要3種カメムシ74頭（平年46.8頭、前年11頭）
 - ・ミナミアオカメムシ1,083頭（平年172.7頭、前年81頭）
 - ・イネカメムシ：183頭（前年21頭）
- (3) 8月25日福岡管区気象台発表の1か月予報によれば、平均気温は平年より高く、降水量は平年よりやや多く、日照時間は平年よりやや少ないと予想されており、やや多発生の条件となっている。

5 防除上注意すべき事項

- (1) 薬剤防除の適期は穂揃期とその7～10日後の2回である。防除時にはみつばちへの影響を考慮して実施する。
- (2) カメムシ類は広範囲に移動するので、できるだけ広域一斉防除を実施する。
- (3) イネカメムシの発生には地域的な偏りが見られるため、発生が多く認められる地域では、防除を徹底する。
- (4) イネカメムシの不稔被害を防止するための防除適期は、出穂期の7日前であり、他のカメムシ類と異なる。そのため、本種の発生が多く、防除を行っていない場合は、早急に防除を実施する。



写真1：カメムシ成虫（左よりケハカメムシ、ミナアカメムシ、イネカメムシ）



写真2：カメムシ幼虫（左よりケハカメムシ、ミナアカメムシ、イネカメムシ）

病害虫防除所のホームページでは、各種病害虫の発生状況を随時更新しています。発生状況の把握や防除の参考にご活用下さい。

○福岡県病害虫防除所のホームページへのアクセス
URL：<https://www.jppn.ne.jp/fukuoka/> または右QRコード①

○Twitter（ツイッター）で定期情報や警報等発出のお知らせを始めました。Twitterの本アカウント（福岡県農作物病害虫情報）へのアクセス
URL：https://twitter.com/PPDPO_Fukuoka または右QRコード②



最新の病害虫発生状況

